TOTO

REAシリーズ用

膨張水処理ユニット

RHE655

安全のために必ずお守りください

ご使用の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、機器を安全に正しくお取り付けいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表　示	意　味
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの可能性が想定される内容を示しています。

絵表示については、つぎの意味があります。

表　示	意　味	表　示	意　味
⃠	一般的な禁止	❗	必ず実行

⚠ 注意

⃠ 禁止	排水ホッパー取付時の傾きは、鉛直に対して全方向10°を越える取り付けはしない（漏水の原因になります。）

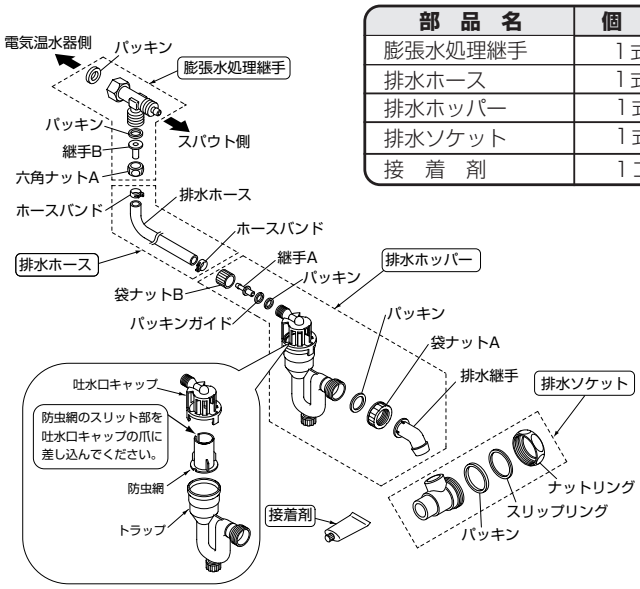
⚠ 注意

❗ 必ず実行	洗面器の排水管は、耐熱性のものを使用する（熱により変形、割れをきたし漏水するおそれがあります。）
	付属の接着剤を使用する（漏水の原因になるおそれがあります。）
	袋ナットの締め付けは手で確実に締め付ける（①無理に工具で締め付けると、部品が破損するおそれがあります。②締め付けが不十分な場合、漏水するおそれがあります。）
	袋ナットの締め付けは排水ホッパー本体を持って締め付ける（締め付けが不十分な場合は、接続部より漏水するおそれがあります。）
	防虫網を必ず取り付ける（漏水の原因になります。）

1 部品の確認

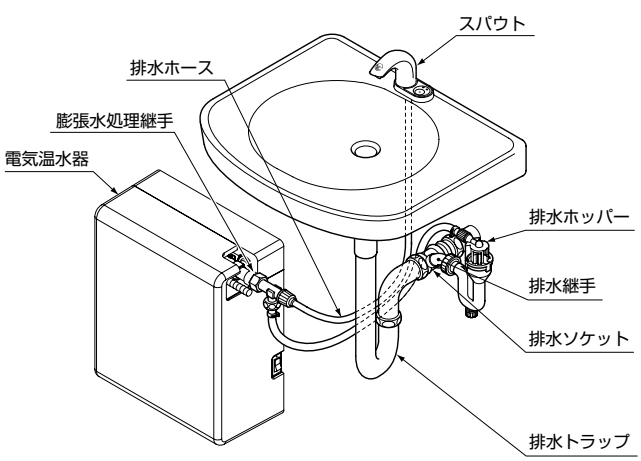
部品と個数を確認してください。

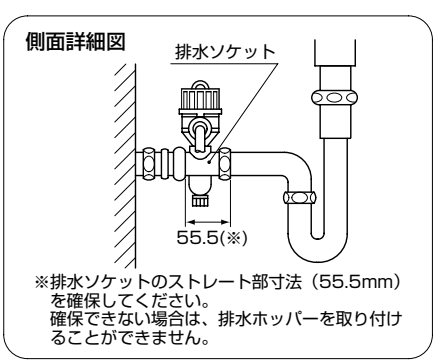
部　品　名	個　数
膨張水処理継手	1式
排水ホース	1式
排水ホッパー	1式
排水ソケット	1式
接　着　剤	1コ



2 完　成　図　（取り付けの前に、電気温水器本体の施工説明書にしたがい位置決めを確実に行ってください。）

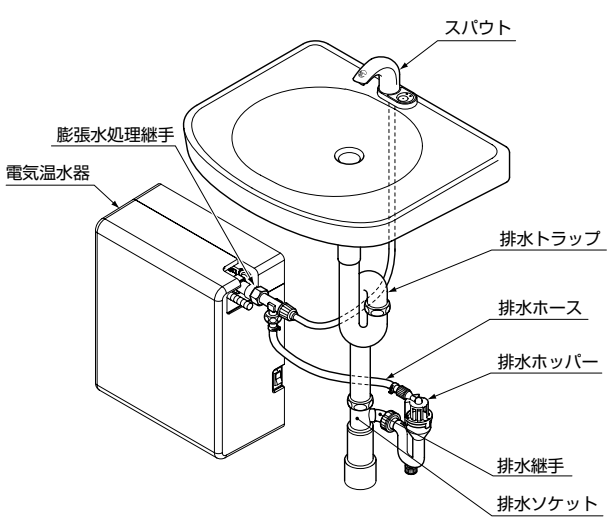
【壁排水の場合】

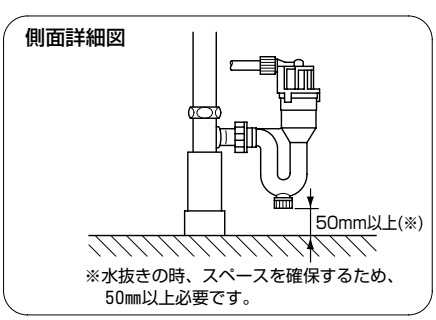




※排水ソケットのストレート部寸法（55.5mm）を確保してください。
確保できない場合は、排水ホッパーを取り付けることができません。

【床排水の場合】





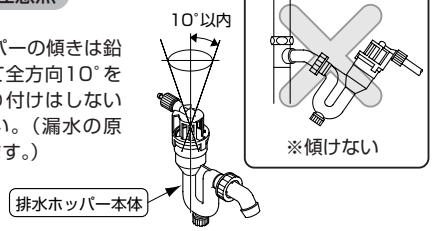
※水抜きの時、スペースを確保するため、50㎜以上必要です。

※吐水時に排水ホッパーに排水されることがありますが、故障ではありません。

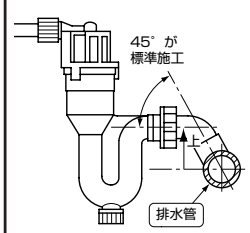
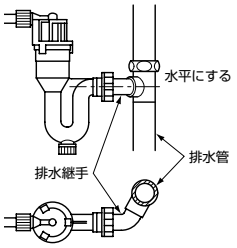
3 取付手順

取付時の注意点

1. 排水ホッパーの傾きは鉛直に対して全方向10°を越える取り付けはしないでください。（漏水の原因となります。）

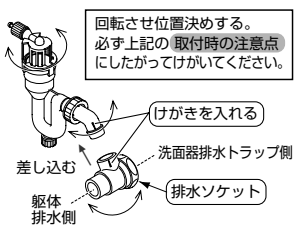


2.

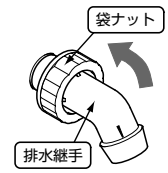
壁排水の場合	床排水の場合
	
必ず排水ホッパー出口中心が、排水管中心より上になるように取り付けてください。	必ず、上図にしたがい排水継手を水平に取り付けてください。

施工手順

1. 排水ホッパー本体に排水ソケットを差し込みます。（接着はしない。）
上記 取付時の注意点 にしたがい、設置場所にて位置合わせした後、排水継手と排水ソケットに位置決めのけがきを入れてください。



2. 排水継手部の袋ナットをゆるめ、排水ホッパー本体から排水継手を外す。



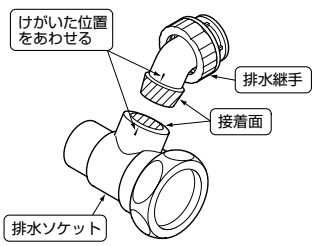
装着時に必ず袋ナットを挿入しておいてください。

※パッキンはなくさないよう注意願います。

3. 排水継手を排水ソケットに1.でけがいた位置に接着する。

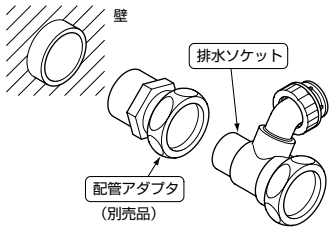
【接着の手順】

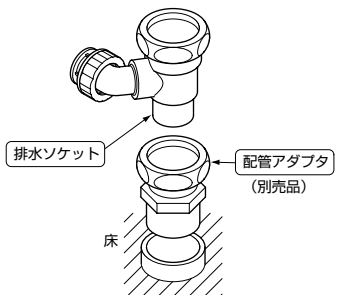
①排水継手・排水ソケットの接着面の水分やゴミ、油などの汚れのないようふき取ってください。
②排水継手と排水ソケットの両方に接着剤（同梱）を、均一に塗布します。（下図中斜線部が接着部です。）
③常温で約5～10分間乾燥させた後挿入してください。（乾燥が不十分だと、接着強度が低下します。）



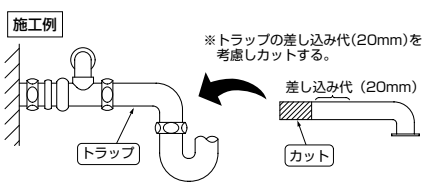
④挿入後手で十分に押し込んで接着してください。

4. 躯体排水側の排水管に別売品の配管アダプタを取り付け、その配管アダプタに排水ソケットを取り付ける。



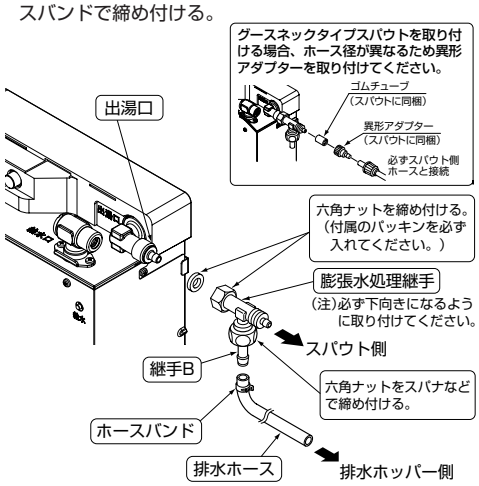


5. 洗面器の排水管を排水ソケットに取り付ける。

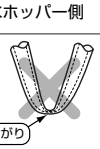


6. 電気温水器の出湯口に、膨張水処理継手を取り付ける。（下図参照）
※REA03タイプで左配管取り出しの場合は、別途固定金具（RHE656）が必要です。詳しくは、固定金具の施工説明書をご覧ください。

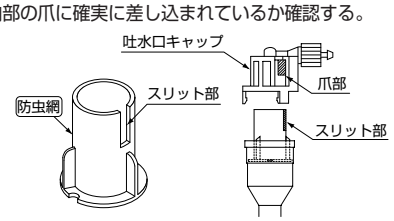
7. 膨張水処理継手の継手Bに排水ホースを差し込み、ホースバンドで締め付ける。



注 排水ホースは折れ曲がらないように取り付けてください。
折れ曲がるとホースがつぶれ、性能が発揮できないおそれがあります。



8. 排水ホッパー本体の防虫網のスリット部分が吐水口キャップ内部の爪に確実に差し込まれているか確認する。

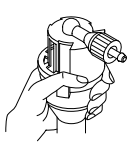


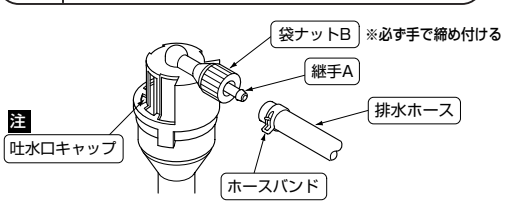
防虫網を必ず取り付ける
（漏水のおそれがあります。）

9. 排水ホッパー本体の袋ナットBを手で締め付け、継手Aに排水ホースを差し込み、ホースバンドで締め付ける。

排水ホッパーを手で持ち、袋ナットを手で確実に締め付ける

（①無理に工具で締め付けると、部品が破損するおそれがあります。
②締め付けが不十分な場合、漏水するおそれがあります。）





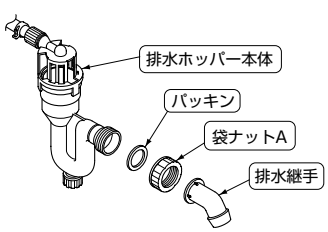
※排水ホースの長さが長い場合はカッターなどを用い、切断面が垂直になるよう切断してください。

注 吐水口キャップは回転させることができ、ホース取出位置を自由に変更できます。

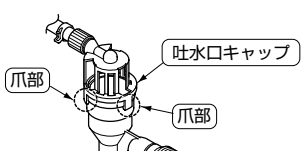
10. 施工手順3の接着剤が硬化した後に排水ホッパーと排水継手を接続する。

袋ナットの締め付けは手で確実に行う

（①無理に工具で締め付けると、部品が破損するおそれがあります。
②締め付けが不十分な場合、漏水するおそれがあります。）

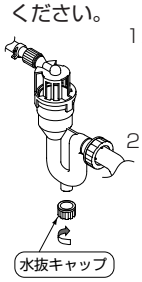


11. 施工完了後、吐水口キャップの爪が確実に取り付いているか確認する。確実に取り付いていないと漏水のおそれがあります。



4 水抜き方法

電気温水器の試運転後、引渡しまでに凍結のおそれがある場合は、次の要領で排水ホッパー内の水を抜いてください。



1. 電気温水器に同梱されている取扱説明書にしたがって電気温水器の水抜きをしてください。
2. 排水ホッパーの水抜キャップを外してください。
以上の操作で水抜きは完了です。

5 水抜き後の処理

1. 電気温水器に同梱されている取扱説明書にしたがって水抜き後の処理をしてください。
2. 排水ホッパーの水抜キャップを締めてください。
3. 電気温水器の電源プラグを抜いてください。